

令和6年度 上田市指定管理者モニタリング評価調書

【施設概要】

施設名称	上田市別所温泉森林公園					
指定管理者名	信州上小森林組合	料金制導入区分	使用料(収納委託)			
指定管理期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日 (5年間)					
施設所管課	産業振興部	森林整備課	担当者(内線)	西村(1574)		
設置目的	自然環境のすぐれた森林を保護するとともに、その利用増進を図り、もって市民の保健、休養及び林業関係者の研修の場に資する。					
指定管理者が行う業務内容	上田市別所温泉森林公園の管理運営と施設及び物品の維持管理に関する業務 上田市別所温泉森林公園の利用許可と利用料金の徴収・納付に関する業務 特産栽培管理・栗園の入園に関する業務					
管理業務の状況	作業項目	作業内容	回数	実施日	実施状況	
	日常清掃	園内の清掃	1日1回以上	毎営業日	職員が実施	
	定期清掃	園内の清掃	年1回以上	シーズン開始・集積時に実施	職員が実施	
	消防設備点検業務	管理担当者による点検	1日1回以上	毎営業日	管理担当者が実施	
	消防用設備等法定点検	有資格者による法定点検	年2回以上		専門業者に委託	
	水道施設保守点検	有資格者による法定点検	年2回以上	4・11月	専門業者に委託	
職員の配置状況	役職等(職務内容)			計画	実績	
	統括責任者(全館の運営を統括)			1人	1人	
	管理担当(総務業務補佐、経理担当)			1人	1人	
	管理担当(管理部門の統括、現場業務)			1人	1人	
	受付担当(受付部門の統括、料金の徴収・免除、窓口対応)			1人	1人	
サポートスタッフ(利用許可、窓口対応、利用料金の徴収・免除)			1人	1人		
施設の 利用状況	利用区分等	設定目標値	R6年度実績	達成率	R5年度実績	前年度比
	森林総合センター	70人	107人	152.9%	115人	93.0%
	テント	150人	179人	119.3%	158人	113.3%
	バンガロー	20人	35人	175%	37人	94.6%
	栗園	—人	302人	—%	281人	107.5%
	開館日数	244日	延べ利用者数(R6)	623人	一日あたり利用者数	3人
(施設所管課による評価) 指定管理者の営業努力により目標を達成した。						
自主事業の状況	事業・イベント名(内容)			開催日時	参加者数	
(施設所管課による評価)						

【収入・支出の状況】

(金額単位:円)※ 消費税額含む

		項目	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	令和6年度 決算額	備考
指定管理者	指定管理業務	収入					
		指定管理料	5,190,000	5,106,000	5,288,000	5,288,000	
		計	5,190,000	5,106,000	5,288,000	5,288,000	
		支出					
		人件費	3,655,000	3,614,000	3,540,000	3,851,000	
	光熱水費・燃料	268,000	304,000	349,000	378,000		
	点検・修繕費	979,000	767,000	922,000	732,000		
	印刷費	8,000	8,000	5,000	0		
	資材費・その他	277,000	413,000	472,000	327,000		
	計	5,187,000	5,106,000	5,288,000	5,288,000		
	差引	3,000	0	0	0		
	自主事業	収入					
計		0	0	0	0		
支出							
計		0	0	0	0		
差引	0	0	0	0			
市	歳入						
	使用料	237,815	234,170		339,890		
	栗売り払い	95,725	61,265		182,210		
	計	333,540	295,435	0	522,100		
	歳出						
	5,190,000	5,106,000	5,106,000	5,288,000			
計	5,190,000	5,106,000	5,106,000	5,288,000			
差引	△ 4,856,460	△ 4,810,565	△ 5,106,000	△ 4,765,900			
総合計			△ 4,853,460	△ 4,810,565	△ 5,106,000	△ 4,765,900	

【施設所管課による評価】(全施設共通評価項目)

	評価項目	判断基準	評価
施設管理	施設の運営・清掃の状況	事業計画等に基づき、施設運営に必要な人員と有資格者が配置されているか。責任者や指揮命令系統は明確か。	○
		条例に基づく「開館(場)時間」や「休館(場)日」が遵守されているか。	○
		事業計画等に基づき、利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているかどうか。	○
	光熱水費・環境への配慮の状況	施設の利用状況等に応じて、適切な使用量となっているか。(※電気・ガス・水道・燃料の使用がない施設は評価対象外)	○
		省エネ、温室効果ガス削減やごみの減量化・分別を行っているか。	○
	設備・備品の保守・管理状況	消防設備は法令等に基づき点検が行われているか。避難経路に障害物はないか。(※消防設備が不要な施設は評価対象外)	○
		事業計画等に基づき、施設や設備の点検、必要な修繕が適切に行われているか。	○
		備品に過不足がなく、適切に管理されているか。	○
	事務手続きの状況	第三者への業務委託は適正に行われているか。	○
		条例や基本協定書に規定する事業計画書や事業報告書等の書類が遅滞なく提出されているか。また、内容は適切か。	○
財務状況	収入の状況 (※無料施設は評価対象外)	収支予算に基づき、必要な収入が確保されているか。	○
		収入増に向けて、PR等の取組が行われているか。	○
		料金の徴収や減免等の手続きが適切に行われているか。	○
	支出の状況	収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか。施設運営に不要な経費の支出がないか。	○
	経理事務・帳票類の保管等	経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか。	○
		管理費用の執行状況は適正か。	○
安全対策・危機管理	個人情報の保護・施設管理上の秘密の保持等	利用者名簿等の個人情報適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか。	○
		施設や金庫等の鍵・暗証番号等、施設管理上の秘密の管理者や管理方法が明確であり、適切に管理されているか。	○
	利用者の安全対策・緊急時の対応	緊急・災害時の対応マニュアルや連絡体制が整備されるとともに、避難訓練等、必要な取り組みが行なわれているか。	○
		危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか。	○
		管理業務仕様書と基本協定書で指定する施設賠償責任保険に加入しているか。(※加入不要な施設は評価対象外)	○
利用者サービス	利用者サービス向上の取組	アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組みが整っているか。	○
		対応する職員によって提供するサービスに差が生じないように、職員に対する研修等、適切な対応が行われているか。	○
	施設利用者への対応	利用者が気持ちよく利用できるよう、接客マナーや施設利用に係るサービスは適切であるか。	○
		特定の利用者を優遇したり、利用を制限していないか。	○
従業員の労働条件	労働条件の明示、帳簿類の整備等	労働契約書(労働条件通知書)が適正に整備されているか。	○
		法定三帳簿(労働者名簿、出勤簿、賃金台帳)が適正に整備されているか。	○
		就業規則が適正に整備されているか。	○
		36協定が適正に締結されているか。	○
	労働条件の内容	労働時間の管理は適正か。	○
		賃金の管理は適正か。	○
		年次有給休暇の運用・管理は適正か。	○
	各種保険・安全衛生	社会保険・労働保険に加入しているか。	○
安全衛生の管理体制は適正か。		○	
個別事項			
(施設所管課の評価)※「△」や「×」の評価がある場合は、改善対応を記載			

【指定管理者による自己評価】(セルフモニタリング)

(1)令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日)の取り組みに対する評価

①利用者増加・利用者サービス向上への取り組み

- ・保育園等のイベントとしての利用が増えてきている。それにより、当日来た子供が家族と再度来てもらえる場の提供をしたい。
- ・静かな環境を好む方の需要が多く、古さゆえの利点もある。

②経費節減に対する取り組み

- ・最低賃金の上昇や諸物価の高騰により経費の削減は難しい。
- ・宿泊の日数の増加により管理人を必ず配置するために宿直手当が増加してる。来場者の増加によって経費も増加する

③その他

- ・施設の老朽化により、修繕が必要な個所が多数ある。
- ・電気のLED化が進んでいない。施設の老朽化によるところもあり、優先順位を検討する必要がある。

(2)指定管理業務実施上の課題

- ・施設の老朽化が大きな課題であり、特にポンプ室や貯水タンクに向かう配管等の水道設備について不安がある
- ・最低賃金の設定のために人件費が高額となっている。
- ・宿直日数の増加のによって宿直(管理人)の手配に苦慮している。

(3)次年度以降の取り組み

- ・ライフラインなどの充実を図れればと考える。
- ・アナログ回線の電話を光回線に変更できるのか検討中。
- ・地元小中学校・保育園・育成会等にアピール

(4)その他

①利用者からの主な意見、苦情及び対応等

- ・最近の異常気象による猛暑のために、水を利用できるようにしてほしいという意見があった。
- ・夏休みに家族連れの宿泊者から花火をしたいとの意見があった。草や枯れ葉に火がついても困る旨を説明し、手持ち花火をバケツの上で実施してもらった。

②市からの改善指示に対する対応(※市から改善指示等があった場合のみ)

特になし。